飯山の人は、ちょっとぶっき らぼうなところもあるが、温か さ、やさしさが強い。自己主張 さ、やさしさが強い。自己主張 な心の幅も持っている。こんな、 を感じているところである。 を感じているところである。

再び飯山市内の中学校に勤務されていただき、約半年が経った。今、ここまでを振り返ってた。今、ここまでを振り返ってた。今、ここまでを振り返ってた。今、ここまでをおり飯山っていいなー」という印象でいっぱいでなる。それは、懐かしい風景、ある。それは、懐かしい風景、ある。それは、ちょっとがある。それは、ちょっとが、何よりも飯山の人は、ちょっとがそうさせている。

「に感じている。

「いいところもあるが、温からぼうなところもあるが、自己に勤務

であげたい」という思いとが一致し、そこから素晴らしい心の致し、そこから素晴らしい心の強いなってくれて、一緒に一点に合唱をしていてとても楽しに合唱をしていてとても楽しに合唱をしていてとても楽しに合唱をしていてとても楽しに合唱をしていてとても楽しに合唱をしていてとても楽したいとおっしゃってくださった。ことを吸収し、いい合唱にしたいという生徒の意欲がそうさせたのではないかと思っている。

## い いやまウ クエンド教室

山

.雪国大学

文学セミナ

藤村の

8

(詩の朗読)で幕を閉じま トし合計 8 回開催された 10月15日 (日)は4人の た10月15日 (日)は4人の は4人の は4人の で幕を発表



会場となった市民会館3 時の大会議室では、前日か 時の大会議室では、前日か を中心に行われ、小さな舞 を中心に行われ、小さな舞 を中心に行われ、小さな舞 をか出来上がりました。 4人の子どもたちが金くりとした曲に合われる当日は、淡い照明と

人の子どもたち

心

を

( V

市立第二中学校

校長

意見・私見

ア

料理

 $\mathcal{F}$ 

終り ・ は3 ・ は3 ・ は3 ・ は3 ・ は3 ・ は4 ・ は3 ・ は4 ・ は4 ・ 数室は、自分の中に ・ は4 ・ は4



子みすずの詩を堂々と朗読

島崎藤村の「破戒」が出版島崎藤村の「破戒」が出版は、『藤村の「破戒100年をめば、『藤村の「破戒100年をめば、『藤村の「破戒100年をめば、『藤村の「破戒100年を必ずなが、 のセミ

戒は、「破 は、「破 で の葉

藤村の人物、作品と飯山の関各作品を中心に、小説家島崎陰」「千曲川のスケッチ」の

おりや、その時代背景に深く 追り、出版からこれまでの歳 月の中で移り変わってきた作 品への評価や考え方をあらた めて学ぶことができました。 毎回の講義が終了すると、 多くの受講者が東先生のもと に集まり、作品についての疑 問や、考え方を直接伺う姿も 見られ、なかには、自身で調 見られ、なかには、自身で調 見受けられ、作品を通じてふ るさと飯山や島崎藤村への関 心の深さがうかがわれまし た。



していきたいと思います。らも皆様が関心のある題材をらも皆様が関心のある題材を飯山雪国大学では、これか

飯山市市民会館

かまくらホール

■内容

グループホーム赤いにんじん

代表 渡辺侑華 さん

「ボランティア活動の

長野ポランティア地域活動センター 所長 美谷島 越 子さん

## 第34回 差別のない明るい飯山市を築く市民大会』

■日時 PM1:30~4:00

実践報告 「ボランティア活動の中で」 大平ユリ さん

実践報告

「下高井農林高校の生徒の ボランティア活動」 ぶるうべりぃ'S

演奏会「世界に1つだけの花」他 みゆき野吹奏楽団

現状と展望」

を楽 広報部員 山

瑞穂公民館

各々、見えなくてはならない。とかくありがちな自己い。とかくありがちな自己にはならない。このようなにはならない。このようなで自分と他の人との関係を本気で取り組む経験を通して自分と他の人との関係をではならない。このようにはならない。とかくように思う。 見えなくてはならなと学級全体の関係」が の関係ら、「自 幸 なが

瑞穂公民館では、昨年に引き続きアジア各国からお嫁に を開催させていただきまし 会を開催させていただきまし た。

はみました。 にか、今は地区の人達とも にが、今は地区の人達とも したが、今は地区の人達とも はのになり、運動会や球技 が会など公民館行事にも積 を的に参加されています。

のネパール料理を甚能した。今年は充実の3回企画で、

3回は福島の永津静華さんンダさんの焼きビーフン、第第2回は柏尾の江村メリ

第2回は柏尾の江村メ

心学の

の本場餃子!と、今年は参加の本場餃子!と、今年は参加かな!?

ほどで・・) おしゃべりを楽美味しく食べて (作るのは程 も落ちそう レーは爽やかな辛さでホッマサラを使ったチキン !参加者みんなで ッン

第二中学校では、本年度の星 第二中学校では、本年度の星 を、生徒会の委員会や学年、学 た。生徒会の委員会や学年、学 た。生徒会の委員会や学年、学 を、生徒会の委員会や学年、学 を、とりわけ昨年より始 めた音楽祭には、どのクラスも 一生懸命取り組み、自分たちの 合唱の完成に向けて練習を積み 全と藤井ふじの先生のお二人の た生をお招きし、ご協力をいた たないた。集習の進む中、生徒の だいた。練習の進む中、生徒の だいた。練習の進む中、生徒の だいた。練習の進む中、生徒の だいた。練習の進む中、生徒の

多くの場合、みんなが真剣になると、そこにはよいものになると、そこにはよいものにい気持ちが芽生えてくるものである。時にはその気持ちにずれが生じて感情のもつれとなったりもする。学級が空中分解しそうになる方になることを乗り越え、まとまっていく。一つのことを乗り越え、まとまっていく。一つのことを作り上げるには、大小の違いはあるだろうが、必ずドラマがある。心をつラス全体が心を一つにするには、「みんなで向かう方向がはつきりしている」ことはも

下来を担う子どもたちが、 将来を担う子どもたちが、 で育ち、様々な体験や学習を通して更に温かい心、 思いやりあふれる人間関係 として育たないことは狼に 育てられた少女の例を挙げるまでもなく周知の事実で しさ」「親切」等の心情を育 しさ」「親切」等の心情を育 しさ」「親切」等の心情を育 を願って止まない。 として育たないことは狼に を願って止まない。 として育たないことは狼に を立る環境を行政・地域・ を変・学校とが一体となっ をの絆を基にした魅力ある との絆を基にした魅力ある るものと確信している。



27 公民館報いいやま/06.11